

【代表質問】通告書(令和5年12月定例市議会)

質問順序	会派 質問者	質問の要旨	具体的内容	答弁順序	答弁者
1	みらい白杵 安東 鉄男	1. 白杵市の小・中学校の適正規模と適正配置について	<p>近年、我が国においては、少子高齢化が進み、本市においてもその傾向は顕著である。合併後の本市における子どもの出生数は、「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」(総務省)によると、合併2年目の平成18年の311人を最後に300人を割り込み、一昨年の令和3年は140人、昨年の令和4年は146人と、僅か15年で半数以下となり、著しい減少傾向をたどっている。</p> <p>このような状況下で、令和5年度から「白杵市公立学校のあり方検討委員会」が設置され、11月までに3回開催された。同委員会では、これからの適正規模・適正配置の方向性を示す基本方針(案)の検討をされているが、現時点で、お知らせできる内容や方向性を伺いたい。</p> <p>「白杵市の小・中学校の適正規模と適正配置について」</p> <p>(1) 白杵市が目指す学校教育について</p> <p>(2) 学校の適正規模の基本的な考え方について</p> <p>(3) 白杵市小・中学校の適正な規模の基準について</p> <p>(4) 適正な配置の取組について</p> <p>(5) 今後の取組について</p>		
		2. 旧野津高校跡地の再活用に向けた取組について	<p>昨年9月、旧野津高校跡地は民間事業者による利活用を目指したが、事業者の経営破綻により、令和5年2月以降は事業停止状態となった。現在、市は過去の反省も踏まえ、施設の再活用に向けた取組を進めているところである。</p> <p>市は、旧野津高校跡地の再活用に向けた取組の一環として、施設の現状を市民の皆様知ってもらうため、誰でも自由に見られるよう施設見学会を開催した。このうち2日間は、施設の案内や工事の内容などに関する詳しい説明を行ったのち、市長を交え再活用や検証結果に関する意見交換会を行った。</p> <p>また、令和5年10月26日から11月30日までの間、はがきやインターネットにより、再活用に向けた検討のため、市民の皆様からの提案を募集したところである。</p> <p>(1) 旧野津高校跡地の再活用に向け、どのような内容の意見や提案が寄せられたのか伺う。</p> <p>(2) 旧野津高校跡地の再活用に向け、今後どのように取り組んでいくのか伺う。</p>		
2	創政会 大塚 州章	1. 白杵市における財政計画と事業計画について	<p>(1) 白杵市の現在における財政状況と今後10年における財政の見通しについて</p> <p>(2) 白杵市における今後の主要な事業計画とその優先順位について</p> <p>(3) 事業計画に基づく今後の財政計画とのバランスについて</p>		
3	そらいろ白杵 匹田久美子	1. 「人権尊重の地域づくり」ジェンダー平等の実現について	<p>(1) 市役所の女性管理職の登用とワークライフバランスについて</p> <p>(2) さまざまな意思決定に係る各団体の女性割合について</p> <p>(3) 学校現場におけるジェンダー平等への取組について</p> <p>① 小・中学校の女性管理職の登用について</p> <p>② 包括的性教育を学校の授業に取り入れていくことについて</p> <p>③ 市内中学校の制服変更により、ジェンダー平等を理解する一助とすることについて</p>		
		2. 障がいのある人もない人も心豊かに暮らせる地域づくりについて	<p>(1) 令和6年度から民間事業者に対して、障がいのある方への合理的配慮の提供が義務化されることを、どうお知らせしていくのかについて</p> <p>(2) 障がいのある人への無理解や無意識の偏見を取り除くための啓発を、どのように広げていくのかについて</p>		
4	鴻治会 甲斐 尊	1. 地域の「農業の将来のあり方」を計画する地域計画の取組について	<p>地域計画は、地域の「農業の将来の在り方」を計画することとしている。地域計画の大きな特徴は、「農業を担う者」の定義を認定農業者や集落営農組織等いわゆるプロ農家だけでなく、中小・家族経営、兼業農家及びマルチワーク(副業)の一つとして農業を選択する者についても、担い手の範囲に含めて、地域農業の活性化や地域社会の面で重要な役割を果たすことも期待するところにある。このため、地域計画は地域の設計図とも言われていることを踏まえ、以下のことについて伺う。</p> <p>(1) 農家だけでなく、広く市民に本計画の趣旨を周知する必要があると考えるがいかがか。</p> <p>(2) 計画策定体制の構築及び今後のスケジュールについて</p> <p>(3) ユネスコ食文化創造都市の取組を推進する上において、地域計画をどのように位置付けるかについて</p>		